

## ネットワーク対応 UPS 管理/モニタプログラム



## NetpowerView F<sup>®</sup>V5.4

# インストール・ガイド

WindowsNT4.0/2000/XP/Server2003/Vista/Server2008 Windows 98/Me

INR-HF51936b

## 目次

第1章 NetpowerView F 製品概要	3
第2章 ハードウェア	3
第3章 ソフトウェア	
第4章 インストール	5
4.1. UPS管理ソフト	5
4.2. RCCMD	13
4.3. 再インストール	19
第5章 アンインストール	20
5.1. NetpowerView F	20
5.2. RCCMD	22
第6章 その他	24
6.1. 富士通製 ServerWizard でインストールする場合の注意事項	24
6.2. 富士通製 ServerStart でインストールする場合の注意事項	25

商標

NetpowerView Fは富士電機システムズ(株)の登録商標です。その他すべての登録商標、商品名、会社 名は各企業の所有物であり、情報の記載のみを目的として使用されます。

## 第1章 <u>NetpowerView F 製品概要</u>

NetpowerView F には以下のような特徴があります。

#### ●UPS 管理プログラム

Windows NT4.0/2000/XP/Server2003/Vista/Server2008 上で実行されるサービスプログ ラムです。シリアルポートを介して UPS と通信を行い、UPS の状態監視や各種データの取得、 ロギング、コマンドの発行等を行います。また、接続されている UPS の型式名や使用するシリア ルポート番号、シャットダウン動作、イベント/ジョブなど、さまざまな設定も行います。UPS 管理 プログラムは、UPS の管理を行うサーバに必ずインストールします。

#### ●UPS モニタプログラム

UPS 管理プログラムが収集した情報の表示、バッテリテスト、スケジューリング設定などを行う ためのユーザインターフェースプログラムです。 UPS 管理プログラムが導入されているサーバ にインストールして UPS 管理プログラムに接続(ローカル接続)することや、または別マシンにイ ンストールして、ネットワーク経由で接続(ネットワーク接続)し、UPS のモニタが行えます。

#### 

RCCMDは、同一ネットワーク(TCP/IP)上に存在する複数のサーバをシャットダウンさせる ことが可能です。

システム構成として、UPSから複数のサーバに電源が供給され、これらのサーバが同一ネットワーク上に存在する場合を想定します。これらのサーバのうちの1台(マスタサーバ)に UPS 管理プログラムをインストールし、他のサーバ(スレーブサーバ)に RCCMD をインストールします。 停電発生時、UPSを制御しているマスタサーバは、他のスレーブサーバにネットワーク (TCP/IP)経由でシャットダウン指令(RCCMD コマンド)を送ります。 スレーブサーバはRCC MDコマンド受信にて、OSをシャットダウンします。

### 第2章 <u>ハードウェア</u>

NetpowerView Fを使用するには、以下のハードウェアが必要になります。

- 高機能無停電電源装置(UPS): NetpowerProtect シリーズ、GX シリーズ
- ●NetpowerProtect、GX 専用接続ケーブル(FIFA/WS9)
- ●IBM PC-AT 互換機 (Pentium 200MHz 以上)
- ●RS-232C シリアルポート
- ●ハードディスクの容量:100MB以上

●メモリ:64MB以上

## 第3章 <u>ソフトウェア</u>

1. オペレーティングシステム

NetpowerView Fは以下のオペレーティングシステムに対応しています。

●UPS 管理プログラム: Windows NT4.0SP5 以上

 Windows 2000 (SP 未適用にて動作保証済みです。ただし、

 SP2 の適用を推奨します。)

Windows XP(SP 未適用、SP2、SP3 にて動作保証済みです。) Windows Server 2003(SP 未適用にて動作保証済みです。) Windows Vista(SP 未適用、SP1 にて動作保証済みです。) Windows Server 2008(SP 未適用にて動作保証済みです。)

●UPS モニタプログラム: Windows 98/Me

Windows NT4.0SP5 以上

Windows 2000 (SP 未適用にて動作保証済みです。 ただし、 SP2 の適用を推奨します。)

Windows XP(SP 未適用、SP2、SP3 にて動作保証済みです。) Windows Server 2003(SP 未適用にて動作保証済みです。) Windows Vista (SP 未適用、SP1 にて動作保証済みです。) Windows Server 2008 (SP 未適用にて動作保証済みです。)

- 2. 推奨画面サイズ 1024×768ピクセル
- 3. ネットワークプロトコル

以下のネットワークプロトコルが必要です。

#### ●TCP / IP

4. サービス

UPS 管理プログラム(UPSMAN サービス)を動作させるためには、2つのサービスが必要です。

• Server

#### Workstation

- UPS 管理プログラムでSNMPエージェント機能を使用する場合は、以下のサービスが必要です。
  - •SNMP Service

## 第4章 インストール

#### 4.1. UPS管理ソフト

 インストールの前に、現在、動作させているアプリケーションをすべて終了させて下さい。 NetpowerView F の CD-ROM をセットします。しばらくすると NetpowerView F セットアップ ランチャーが自動再生されます。その中から[図 1 ランチャー起動画面(UPS 管理ソフト)]の 赤丸部分のピクチャーをクリックして下さい。

NetpowerView F (B)	決ソフトウエアモインストークもお助し	.t1.	
	97トウエアの第ラク単叶してても24 Netgomer View F vを40 1、20195年シバアルケーブルで 監護・制御するソフトウエアで す。		NarpowerView F04(52):一座 開始性限時(ます。
	RCCMD v2D 雑誌会会サーバルネットワーク級 日で、RCCMのを使用してシャッ トダウンします。	C:\ upscmd.exe	Nationary Users F 5459 UPSC and v1.2 for Mindows Nationary Users F VSU/33/5.4 for Mindows Mat/518/971-17,271/7828 Mission 4:51273.5
	統合管理 くりの副列数的 補助会会のいちら数数項でありつト ウエアです。創計数回こう、イン ストール分子を取り聞き多少量 ある場合のことにはず。こう事だ たていっ		CDD5内容をエラスブローラで開 まます。
			第2340/

図 1 ランチャー起動画面(UPS 管理ソフト)

- 2. しばらくすると、[設定言語の選択]ダイアログが表示されます。インストールで使用する言語を 選択し、[OK]をクリックします。
  - 注1) NetpowerView F がすでにインストールされている場合は、一度アンインストールしてから インストールして下さい。アンインストールの方法は"5.1NetpowerView F"を参照して下さ い。
  - 注2) 自動再生されない場合には"winsetup¥setupups.exe"を実行して下さい。
  - 注3) インストール時に言語を選択することが可能ですが、現状は日本語以外の言語に対応して おりません。他の言語を選択しないよう、ご注意ください。



図2 言語の選択

3. [情報の入力]ダイアログが表示されます。ライセンスキーを入力し[次へ(N)]をクリックしま す。



図 3 ライセンスキー入力

- 注1) UPS 管理ソフトをインストールする場合は CD-ROM ケースの裏面に書かれている 「UPS 管理ソフトライセンスキー」を入力して下さい。キーコードの文字は数字のゼロ と英語のオーを区別するためにオーの上に横棒を引いてあります。 また、英語(小文字)のエルは使用していませんので、1は必ず数字の1を表します。 RCCMD をインストールする場合は"4.2RCCMD"を参照してください。
- 注2) 正確に大文字、小文字を区別して入力して下さい。



#### 図 4 CD-ROM ケース裏面のライセンスキーに使用している文字

4. [情報一覧]ダイアログが表示されます。内容を確認の上[次へ(N)]をクリックします。



図 5 情報一覧

5. [製品ライセンス契約]ダイアログが表示されます。契約内容に同意する場合は、[はい(Y)]を クリックします。



図 6 製品ライセンス契約

6. [NetpowerView F のタイトル]ダイアログが表示されます。[次へ(N)]をクリックします。



図 7 タイトル画面

7. [コンポーネントの選択]ダイアログが表示されます。インストールするコンポーネントを選択し、 [次へ(N)]をクリックします。



図 8 コンポーネントの選択

:UPSとRS-232C で接続して監視・制御を行います。

UPS モニタプログラム	:UPSの運転状態をモニタします。
Systemwalker 連携	:富士通製 Systemwalker と連携し、UPS に対して
	制御を行います。
MS Word97 形式ヘルプファイル	:Microsoft 社製 Word97 形式のヘルプファイルです。
PDF ヘルプファイル	:PDFファイル形式のヘルプファイルです。

注1) Systemwalker 連携はUPS管理プログラムを使用してUPSを制御します。インストールするコンポーネントとして選択する場合は、必ずUPS管理プログラムも選択して下さい。

- 注2) UPS モニタプログラムのみをインストールする場合には、UPS 管理プログラムのチェックを はずして下さい。
- 8. [インストール先の選択]ダイアログが表示されます。

デフォルトでは "C:¥Program Files¥UPS"となっています。インストール先を変更する 場合には、[参照(R)]ボタンをクリックして下さい。決定したら[次へ(N)]をクリックします。



図 10 NetpowerView Fのインストール先

注)フォルダ名は半角64文字まで指定できます。

9. [プログラムフォルダの選択]ダイアログが表示されます。そのまま[次へ(N)]をクリックすることで、NetpowerView Fのインストールが開始されます。



図 11 プログラムフォルダの選択

10. インストール終了後、NetpowerProtect が接続されている通信ポートと UPS 型式を自動検 出するためのメッセージボックスが表示されます。自動検出する場合には[はい(Y)]、自動検 出しない場合には[いいえ(N)]をクリックします。

質問	×
?	NetpowerProtectが接続されている通信ポートとUPS型式を自動検出しますか? 注意: 自動検出するために通信ポートにコマンドを送ります。通信ポートに他の機器 が接続されている場合は、誤動作をする場合があります。

11. インストール終了後、DOS プロンプト画面が表示され、[UPS 管理プログラムの設定] ダイ アログが表示されます。ライセンスキーの部分には、手順2で入力したキーコードが表示されま す。UPS 型式、COM ポートを選択して[OK]をクリックします。設定の詳細はユーザーズ・ガイ ドを参照して下さい。UPS 管理プログラムの設定はインストール終了後でも可能です。

UPS管理プログラム	×
UPS	
モデル( <u>M</u> ):	
型式: NetpowerProtect 1400VA Serial I	
ロケーション:	
定格出力 [VA]: 1400 ホールドタイム [分]: 5	
負荷容量 [VA]: 1400 充電時間 時間]: 8	
<u>デバイス(D):</u>	
通信ホ℃-ト: COM2          通信速度: 2400	
UPS ID: 0 ホート番号: 5769	
ライセンスキー:	
初期設定	
V 5.4.00	
<u> </u>	,

#### 図 13 UPS 管理プログラム設定画面

設定画面で選択可能な UPS 型式を以下に示します。 現状では、対応状況が「〇」の UPS に対応しています。 「×」と表示されている型式は未対応ですので、選択しないで下さい。

#### 表 1 UPS 型式一覧

UPS 型式	対応状況	状況 UPS 型式 🕉	
M-UPS050AD-200	0	M-UPS050ADS-200	0
M-UPS050AD-210	0	M-UPS050ADS-210	0
M-UPS050AD-220	0	M-UPS050ADS-220	0
M-UPS050AD-230	0	M-UPS050ADS-230	0
M-UPS050AD-240	0	M-UPS050ADS-240	0
M-UPS075AD-200	0	M-UPS075ADS-200	0
M-UPS075AD-210	0	M-UPS075ADS-210	0
M-UPS075AD-220	0	M-UPS075ADS-220	0
M-UPS075AD-230	0	M-UPS075ADS-230	0
M-UPS075AD-240	0	M-UPS075ADS-240	0
M-UPS100AD-200	0	M-UPS100ADS-200	0
M-UPS100AD-210	0	M-UPS100ADS-210	0
M-UPS100AD-220	0	M-UPS100ADS-220	0
M-UPS100AD-230	0	M-UPS100ADS-230	0
M-UPS100AD-240	0	M-UPS100ADS-240	0
M-UPS050AD-100	0	M-UPS050AD-105	0
M-UPS050AD-110	0	M-UPS050AD-115	0
M-UPS050AD-120	0	-	_

## 表 2 UPS 型式一覧

UPS 型式	対応状況	UPS 型式	対応状況
M-UPS050ADS-100	〇*注1	M-UPS014AD-240	0
M-UPS050ADS-110	〇*注1	M-UPS030AD-200	0
M-UPS050ADS-115	〇*注1	M-UPS030AD-220	0
M-UPS050ADS-120	〇*注1	M-UPS030AD-230	0
M-UPS075ADS-100	〇*注1	M-UPS030AD-240	0
M-UPS075ADS-110	〇*注1	M-Series UPS	×
M-UPS075ADS-115	〇*注1	FUJI M-SPS005	0
M-UPS075ADS-120	〇*注1	FUJI M-SPS007	0
M-UPS100ADS-100	〇*注1	FUJI M-SPS014	0
M-UPS100ADS-110	〇*注1	FUJI M-SPS030	0
M-UPS100ADS-115	〇*注1	FUJI M-SPS030-200	0
M-UPS100ADS-120	〇*注1	PGSUP501	0
G-Series UPS	×	PGSUP701	0
M-UPS010AD-100	0	PGSUP141	0
M-UPS010AD-105	0	PGSUP301	0
M-UPS010AD-110	0	PG-R1UP701	0
M-UPS010AD-115	0	PG-R1UP141	0
M-UPS010AD-120	0	PG-R1UP301	0
M-UPS015AD-100	0	PG-R1UP302	0
M-UPS015AD-105	0	NetpowerProtect-Series	×
M-UPS015AD-110	0	NetpowerProtect 500VA	0
M-UPS015AD-115	0	NetpowerProtect 700VA	0
M-UPS015AD-120	0	NetpowerProtect 1400VA	0
M-UPS020AD-100	0	NetpowerProtect 3000VA	0
M-UPS020AD-105	0	NetpowerProtect 3000VA-200	0
M-UPS020AD-110	0	NetpowerProtect 1000VA	×
M-UPS020AD-115	0	FUJI M-UPS010J	×
M-UPS020AD-120	0	FUJI M-UPS015J	×
M-UPS030AD-100	0	FUJI M-UPS020J	×
M-UPS030AD-105	0	FUJI M-UPS030J	×
M-UPS030AD-110	0	FUJI M-UPS050J	×
M-UPS030AD-115	0	FUJI M-UPS075J	×
M-UPS030AD-120	0	FUJI M-UPS0100J	×
M-UPS007AD-200	0	FUJI 8029E	×
M-UPS007AD-220	0	FUJI 8059E	×
M-UPS007AD-230	0	FUJI 8069E	×
M-UPS007AD-240	0	FUJI 8079E	×
M-UPS014AD-200	0	PW 9155-10	×
M-UPS014AD-220	0	No UPS model defined	×
M-UPS014AD-230	0	CS 111	×

\*注1 型式が MUPS-〇〇〇ADS の UPS の場合、UPS 内部では 200V で動作しているため、UPS モニタプ ログラムでは入出力の電圧が 200V として表示されます。 12. UPS 管理プログラムの起動を確認するメッセージボックスが表示されます。 UPS 管理プログラムのサービスを開始する場合は、[OK]をクリックして下さい。



図 14 Upsman サービスの起動

- 注1) UPS 管理プログラムのサービスの設定はインストール後に[コントロールパネル]の [サービス]からでも可能です。
- 13. セットアップ完了のダイアログが表示されます。

"readme.txt"をすぐに読まない場合はチェックをクリアし、[完了]をクリックします。 これで、NetpowerView F のインストールは完了です。

セットアップの完了	
-	NetpomerView F toトアップが完了しました。 UPS管理ソフトウュアを正しく動作させるために、 ソステムを再起動して下さい。
	₩ Readme.txt支金額
20	[完了]ボタンをクソックすると、セットアップを終了します。
	< 戻る(B) <b>完</b> 了

図 16 セットアップ完了

- 注1) 手順7の[コンポーネントの選択]ダイアログで"Systemwalker 連携"を選択した場合は インストール完了後、パスの設定を有効にするためにサーバの再起動が必要となります。
- 注2) Windows98/Me で、UPS モニタプログラムのみをインストールする場合、インストール終了 手前で、「MS-DOS プロンプト」画面が表示されます。画面を閉じてインストールを継続してく ださい。

#### 4.2. RCCMD

 インストールの前に、現在、動作させているアプリケーションをすべて終了させて下さい。 NetpowerView Fの CD-ROM をセットします。しばらくすると NetpowerView F セットアップ ランチャーが自動再生されます。その中から[図 17 ランチャー起動画面(RCCMD)]の赤丸



図 17 ランチャー起動画面(RCCMD)

- インストールの前に、現在、動作させているアプリケーションをすべて終了させて下さい。 NetpowerView Fの CD-ROM をセットします。しばらくすると自動再生されて[設定言語の選択]ダイアログが表示されます。インストールで使用する言語を選択し、[OK]をクリックします。
  - 注1) RCCMD がすでにインストールされている場合は、一度アンインストールをしてからインス トールを行って下さい。アンインストールの方法は"5.2 RCCMD"を参照して下さい。
  - 注2) 自動再生されない場合には"winsetup¥setupups.exe"を実行して下さい。
  - 注3) インストール時に言語を選択することが可能ですが、現状は日本語以外の言語に対応して おりません。他の言語を選択しないよう、ご注意ください。

設定言語の	潮沢 🗶
漫	このインストールで使用する言語を次の 中から選択して下さい。
	<b>三本語</b>
	OK キャンセル
	図 18 言語の選択

3. [情報の入力]ダイアログが表示されます。ライセンスキーを入力し[次へ(N)]をクリックしま す。

- 注1) CD-ROM ケースの裏面に書かれている「RCCMD ライセンスキー」を入力して下さい。 RCCMDは同一ネットワーク上のサーバ1台毎に、異なるキーコードが必要になります。
- 注2) 正確に大文字、小文字を区別して入力して下さい。CD-ROM ケースに使用している文字 は、"4.1 UPS管理ソフト"を参照して下さい。



図 19 ライセンスキー

4. [情報一覧]ダイアログが表示されます。内容を確認し、[次へ(N)]をクリックします。



図 20 情報一覧

5. [製品ライセンス契約]ダイアログが表示されます。 契約内容に同意する場合は[はい(Y)]をクリックします。



図 21 ライセンス契約

6. [NetpowerView F のタイトル]ダイアログが表示されます。[次へ(N)]をクリックします。



図 22 タイトル画面

7. [コンポーネントの選択]ダイアログが表示されます。

インストールするコンポーネントを選択し、[次へ(N)]をクリックします。



図 23 コンポーネントの選択

8. インストール完了後、RCCMD Wizard 画面が表示され、RCCMD に関する設定を行います。 その際、 [キャンセル]をクリックすると、最初からインストール作業していただくことになりますの で、[OK]をクリックしてください。

注)設定内容の詳細については、ユーザーズ・ガイドを参照して下さい。



図 24 RCCMDセットアップウイザード

9. [インストール先の選択]ダイアログが表示されます。

デフォルトでは "C:¥RCCMD"となっています。インストール先を変更する場合には、 [参照(R)]ボタンをクリックして下さい。決定したら[次へ(N)]をクリックします。



図 25 インストール先

- 注)フォルダ名は半角64文字まで指定できます。
- 10. [プログラムフォルダの選択]ダイアログが表示されます。そのまま[次へ(N)]をクリックすることで、RCCMD のインストールが開始されます。



図 26 プログラムフォルダの選択

- 11. インストール終了後、「RCCMDの設定」画面が表示されます。そのまま[次へ(N)]をクリックします。
  - 注)手順9と同様、[キャンセル]ボタンをクリックすると、今までのインストール作業が無効になりま
    - す。もし、「キャンセル」ボタンをクリックしてしまった場合、お手数ですが、もう一度、

アンインストールから作業をしていただくことになりますので注意して下さい。

No.	X II.a
	ROCMDは、同一ネットワーク(TCP/IP)上に存在する複数台のサーバのOSシャット歩行ンを 可能にします。
	システム構成として、UPSの出力に接触台のサーバを掲続しており、各サーバが同一ネットワ ーク上に存在する場合を想定します。
	停着発生時、UPSを制御しているマスターサーバは、他のスレーブサーバにネットワーク( TOP/IP)浸由でシャットリワン者令を読ることが可能です。 RCCMDは同一ネットワーク上のコンピュータ1台集に、異なるキーコードが必要になります。
UPS UPSMAN	(* 股別)
-	C 8578
<b>a</b> e	5/tt/x4~
	< 京参信 (法への)> (本々)セル

図 27 RCCMDの設定

12. 「シャットダウンを許可するマスタサーバ」画面が表示されます。特定のサーバからのシャットダウン信号のみ許可する場合に設定します。

また、RCCMDで使用するポート番号の変更も可能です。詳細は、ユーザーズ・ガイドを参照して下さい。

記録		_
UPS UPSMAN	************************************	
	< 戻る(B) 次へ(M) > キャ	1216

図 28 シャットダウンを許可するマスタサーバ

 [次へ(N)]をクリックすると「ログ・ファイル設定」、「バッチファイル設定」画面が表示されます。
 RCCMD受信時に起動するバッチファイルを設定、また RCCMD のログ・ファイルのサイズを 設定します。 詳細は、ユーザーズ・ガイドを参照して下さい。

<mark>걔</mark> 設定				_ 🗆 🗡
	ログ・ファイル設定	最大ログサイズ	512 [КЬ]	
UPS				
	シャットダウン信号を受信したと C:¥RCCMD¥shutdown.bat	きの処理		
	参照( <u>R</u> )	デウォルト設定( <u>D</u> )	編	集(E)
	〈 豆ろ(B) 【			キャンクリレ
		BAAL		

図 29 バッチファイル設定

14. セットアップ完了のダイアログが表示されます。

"readme.txt"をすぐに読まない場合は チェックをクリアし、[完了]をクリックします。

これで、RCCMDのインス	トールは完了です。
	RCOMD もらそっアが完了しました。 UPの管理97トウェアを正しく動作させるために、 3055を再起動して下さい。
	☞ Readme.txt老参照
20	[完了]ボウンをワリークすると、セットアッブを終了します。
	〈 戻る(役) 完了

図 30 セットアップの終了

### 4.3. 再インストール

再インストールをする場合は、一度アンインストールをしてからインストールして下さい。 上書きインストールはできません。

## 第5章 アンインストール

#### 5.1. NetpowerView F

2. アンインストールの開始を確認するダイアログが表示されます。[はい(Y)]をクリックします。

アンウストール
レジス村からUPS管理ソフトウェアを削除します。[はい]本的/をワリックするとレジス村を削除します。[いいえ]本的/をグックすると アンインストールを中止します。
(1350) (XX20)
図 29 アンインストール

3. [ファイル削除の確認]ダイアログが表示されます。[はい(Y)]をクリックします。

ファイル削除(	加確認
?	'NetpowerView F'とそのすべてのコンホペーネントを削除しますか?
	<u>(北穴牧)</u> いいえ(N)

#### 図 30 ファイル削除

注1)[ファイル削除の確認]ダイアログで[はい(Y)]をクリックした後に、[共有ファイルの削除] を確認するメッセージボックスが表示される場合があります。

ファイル名が"Qscrnt.dll"の場合は[はい(Y)]をクリックして削除して下さい。

共有7ァイルを削除	:しますか?	×
シスネル上で、ン≿d 他のプロヴラルカ 作しなくなる?	の共有ファイルはどのプログラムでも使用されていません。 シまだこのファイルを使用する場合、削除するとプログラムが動 恐れがあります。共有ファイルを削除してもよいですか?	b
このファイルを残 でない場合は、	しておいてもタヌラムを壊すことはありません。あまり確実 、この共有コンポーネントを消去しないようにして下さい。	R
ファイル名:	Qscrnt.dll	
場所:	E:¥WINNT¥System32¥	

図 31 共有ファイルの削除

注2) アンインストール完了後、いくつかのファイルが残ることがあります。 [詳細]をクリックして、 内容を確認し、ファイルを削除して下さい。



図 32 アンインストール完了

注3) Windows98/Me で、UPS モニタプログラムのみをインストールした場合、アンインストール 終了手前で、「MS-DOS プロンプト」画面が表示されます。画面を閉じてアンインストールを 継続してください

#### 5.2. RCCMD

1. [スタート]→[プログラム]→[RCCMD]→[アンインストール RCCMD]または、 [コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]から[RCCMD 変更/削除] をクリックします。

2. アンインストールの開始を確認するダイアログが表示されます。[はい(Y)]を	シクリックします。
77(7)28-6	
レックスドリからUPS管理ソフトウェアを有認まします。目記、日本文/を分ックするとレックスドリを有認まします。[LK、文]本文/を分ックすると アンインストールを中止します。	
(#CM2) (M 1/2 (1/2	

図 33 アンインストール

3. [ファイル削除の確認]ダイアログが表示されます。[はい(Y)]をクリックします。

ファイル削除の	D確認	×
?	'RCOMD'とそのすべてのコンポーネン	小を削除しますか?
	(#UN) UUX(	Ð

図 34 ファイル削除

注1) [ファイル削除の確認]ダイアログで[はい(Y)]をクリックした後に、[共有ファイルの削除] の確認メッセージボックスが表示される場合があります。ファイル名が"Qscrnt.dll"の場合は [はい(Y)]をクリックして削除して下さい。

共有ファイルを削除	Latath?
災利上で、次付他のアプロショルが 他のアプロショルが 作しなくなる?	の共有ファイルはどのプログラムでも使用されていません。 シまだこのファイルを使用する場合、削除するとプログラムが動 恐れがあります。共有ファイルを削除してもよいですか?
このファイルを残 でない場合は、	しておいても汎乱を壊すことはありません。あまり確実 この共有コレポーネントを消去しないようにして下さい。
77仙名:	0scrnt.dll
場所:	E:¥WINNT¥System32¥
[]] []]	<u>すべてはい(A)</u> いいえ(N) すべていいえ(Q)

図 35 共有ファイルの削除

注2)アンインストール完了後、いくつかのファイルが残ることがあります。[詳細]をクリックして、内



図 36 アンインストール完了

## 第6章 <u>その他</u>

#### 6.1. 富士通製 ServerWizard でインストールする場合の注意事項

**NetpowerView F**をインストールできる富士通製 ServerWizard を使用する場合、 以下の注意事項があります。

1. 本ソフトウェアをインストールするために「アプリケーションの設定」画面の「サーバアプリケーション」にて「NetpowerView F」をチェックします。

	添付7739~/a240
<ul> <li>■ WeardConsoleを(パルールする()</li> <li>■ でおうがれを)といい()</li> <li>Ø ServicePackを適用する(2)</li> <li>■ AutoPark総論を有効にする(2)</li> </ul>	
	ARCserveIT 6.61 for Windows NT ARCserve 2000 WhitpowerWave F

図 37 使用する添付アプリケーションの指定

2. 「NetpowerView F」の設定において、「UPSの設定」の「UPSモデル」に富士通㈱UPS型名が 表示されない場合があります。この場合は、下記の対応表に従い設定してください。

#### 表 3 UPS型式対応表

富士通㈱UPS型名	UPSモデル
PGSUP501	M-SPS005
PGSUP701	M-SPS007
PGSUP141	M-SPS014
PGSUP301	M-SPS030
PG-R1UP141	M-SPS014
PG-R1UP301	M-SPS030

JPSの設定 JPSモデル(M): M-SPS005  COMホペート(P): COM1	
	<u> </u>
わジョン F-V-WER安全 送信SMTPホスト名(H):	
▼ 有効(E) 送信元メールアドレス(A):	

図 38 NetpowerView Fのセットアップ情報

ServerWizard が UPS 管理プログラム(UPSMAN サービス)をインストールする際、スタートアップの種類を「手動」とします。 従って、サーバを再起動すると UPSMAN が自動的に起動しません。
 手動で UPSMAN を起動して下さい。 また、コントロールパネルにてスタートアップの種類を「自動」として下さい。

#### 6.2. 富士通製 ServerStart でインストールする場合の注意事項

- 1. 「NetpowerView F」の設定において、「UPSの設定」の「UPSモデル」に富士通㈱UPS型名が 表示されない場合があります。この場合は"6.1富士通製 ServerWizard でインストールする場合の 注意事項"表2の対応表に従い設定してください。
- ServerStart が UPS 管理プログラム(UPSMAN サービス)をインストールする際、スタートアップの種類を「手動」とします。従って、サーバを再起動すると UPSMAN が自動的に起動しません。
   手動で UPSMAN を起動して下さい。また、コントロールパネルにてスタートアップの種類を「自動」として下さい。